

### (3) 全数把握対象感染症

#### ア ウイルス検査の概要

##### (ア) SFTSウイルス

保健所の積極的疫学調査により 2 名の検査を実施したが、いずれの患者からも SFTSウイルスは検出されなかった。

##### (イ) デングウイルス

デング熱に係る保健所の積極的疫学調査により 4 名の検査を実施した。その内、2 名からデングウイルスが検出された。

##### (ウ) チクングニアウイルス

チクングニア熱に係る保健所の積極的疫学調査により 3 名の検査を実施したが、いずれの患者からもチクングニアウイルスは検出されなかった。

##### (エ) 麻しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により 32 名の検査を実施した。その内、2 名から風しんウイルスが検出された。その遺伝子型はいずれも B3 であった。

##### (オ) 風しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により 22 名の検査を実施した。その内、1 名から風しんウイルスが検出された。その遺伝子型は 1E であった。

#### イ リケッチア検査の概要

各保健所の積極的疫学調査により 7 名の日本紅斑熱の検査を実施したが、すべて陰性であった。また、2 名のつつが虫病リケッチアの検査も国立感染症研究所へ委託したが、陰性であった。

#### ウ 細菌検査の概要

##### (ア) 腸管出血性大腸菌

県内で腸管出血性大腸菌患者（健康保菌者を含む）は 24 名発生した。当所では、患者（陰性化確認）と患者の接触者（結果陽性の場合の陰性化確認も含む）について 72 検体（便）の検査を実施した。その結果、6 件の腸管出血性大腸菌を分離・同定し、これらの血清型は、O103、O111、O157 であった。また、当所で分離・同定された菌株 6 株と他所で分離・同定された菌株 4 株について毒素遺伝子を検査したところ、「VT1・VT2」が 5 株、VT1 が 4 株、VT2 が 1 株検出された。詳細は以下のとおり（P41 表 15 参照）。

表 15 腸管出血性大腸菌感染症発生状況(平成 31 年 1 月～令和元年 12 月)

No.	検出月日	当所検査	居住地域	性別	年齢※	症状の有無	○血清型	Vero毒素型
1	2月14日	—	西部	男	幼児	有	157	VT2
2	2月25日	—	中部	男	20歳代	なし	157	VT1・VT2
3	5月11日	—	東部	男	70歳代	有	157	VT1・VT2
4	5月20日	—	中部	男	小学生	有	157	VT1・VT2
5	5月21日	—	中部	男	幼児	有	111	VT1
6	5月23日	分離・同定	中部	女	20歳代	有	157	VT1・VT2
7	5月24日	分離・同定	中部	男	幼児	なし	157	VT1・VT2
8	5月25日	分離・同定	中部	女	幼児	有	111	VT1
9	6月28日	—	中部	女	幼児	有	103	VT1
10	7月4日	分離・同定	中部	女	30歳代	有	103	VT1
11	7月16日	—	中部	男	60歳代	有	157	VT1・VT2
12	9月6日	—	西部	男	30歳代	有	157	VT1・VT2
13	9月11日	—	中部	女	70歳代	有	157	VT1・VT2
14	9月19日	毒素型	中部	女	幼児	有	111	VT1
15	9月23日	分離・同定	中部	男	20歳代	なし	111	VT1
16	10月10日	—	東部	女	20歳代	なし	型別不明	VT1
17	10月21日	毒素型	中部	女	60歳代	有	157	VT1・VT2
18	10月24日	分離・同定	中部	女	幼児	なし	157	VT1・VT2
19	11月9日	—	東部	男	幼児	有	157	VT1・VT2
20	11月13日	—	東部	男	小学生	有	157	VT1・VT2
21	11月13日	毒素型	東部	男	70歳代	有	157	VT2
22	11月28日	—	西部	女	幼児	有	157	不明
23	12月16日	毒素型	東部	女	60歳代	なし	型別不明	VT1・VT2
24	12月24日	—	西部	男	20歳代	なし	103	VT1

※表中の着色部分はそれぞれ同一事例を示す。それ以外は個別事例

※乳児：1歳未満 / 幼児：1歳以上

(イ) 侵襲性肺炎球菌感染症

保健所の積極的疫学調査により1件の血清型検査を国立感染症研究所へ委託した。その結果、非ワクチン株(13価肺炎球菌結合ワクチンに係る)であった。

(ウ) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

発生届のあった菌株23件について検査を実施したところ、全て4つの遺伝子型(IMP型、NDM型、KPC型、OXA-48型)ではなかった。